

2020

Bookstart



回  
覧

# ブックスタート便り

in さるふつ



猿払村鬼志別保育所子育て支援センター No.6 担当。。。小泉 奈央子

## 12月17日(木)ブックスタートの様子

ブックスタートでは、子育てボランティアさんが絵本を読んでもくれます。今回は、近野さん・松原さんのお二人がお手伝いしてくださっています！！

7・8ヶ月健診 柴田さくくん



1歳6か月検診 東こはなちゃん



1歳6か月検診 小野寺ゆづきちゃん



3歳児健診 太田ぎんじくん



## 「こども・本・わたし」

乳幼児健診時のブックスタートの際、7～8カ月健診を対象に配布させていただきます。



この冊子には、絵本への思いや、自分が小さい頃の絵本との出会い、わが子と絵本など、絵本にまつわる様々なことが書かれております。子育てしているお父さんお母さんたちを中心に原稿の依頼をさせていただき、一つの冊子にまとめています。ブックスタートだよりの中でも掲載し、紹介をしていきます。

## 娘と私の絵本の時間

芦野 森原 志織

正直、私は幼少期に両親に絵本を読んでもらった記憶がほとんどありません。母に聞くと「夜寝る前に布団で毎日読んでたよ」と言っていました。覚えておらず、絵本を読むことの大事さがいまいまいわからないまま母親になりました。

長女を出産してから、お祝いやブックスタート等で絵本をもらう機会が増えたので、深くは考えずに読み聞かせをしていました。

自分で絵本を持ってきて、「読んで読んで」と言う娘に対し、なんでテレビより絵本がいいんだろう？といつも疑問に思っていました。

ある日保育所の広場に出かけたとき、この疑問を近野所長に尋ねたところ、印象的な言葉が返ってきました。「テレビは受け身になってしまいます。絵本を読むことで母親と空間と時間を共有することが大事なのです」と。

確かに絵本を読んでいる時間だけは、私も家事や他のことをせず、娘と向き合っています。「子どもにとってはこの時間がとっても大事な時間なんだなあ」と考えさせられた言葉でした。

幸い長女は寝たきりの赤ちゃんの頃から絵本が大好きで、中でも“どんどこももんちゃん”にはたくさん助けられました。ぐずっているときも、ももんちゃんを読めばピタッと泣き止む。あまりにも効果絶大なので、ももんちゃんを読んだ私の声を録音し、出先で聞かせたりもしていました。4歳になったいまでも「ももんちゃん」は大好きでももんちゃんのところを長女の名前で読むか次女の名前で読むかケンカしながら読んでいます。幸せな時間です。家事やスマホを見る手を止め、近野所長の言葉を思い出し、子ども達に向き合っていけたらいいなあと思う毎日です。

ももんちゃんあそぼう  
シリーズ 20冊以上あり  
ます！

